

## 2009 年度「北陸学総論」について

2009.7.5 作成

### 1. 金沢大学（WEB）シラバスに記載の内容

#### キーワード

北陸、文化、自然

#### 曜日時限

水曜・5 時限（16：30～18：00）

#### 単位数 2

#### 授業の主題

北陸という地域の文化と自然環境の概要を紹介する。複数の教員により、北陸の地域に関わる歴史、産業、地質、生態系など多様な側面を解説する。

#### 授業の目標

北陸の文化と自然について授業担当者それぞれの切り口で地域の独自性、特殊性を明らかにする。提示された文化、自然についての知見の間にはいかなる相互の関係があるかを自分なりに考察することが受講する上での楽しみとなるであろう。受講生各々が独自の視点を得て、さらに深く北陸を理解するためのきっかけとしたい。本授業は、金沢大学、福井大学、富山大学を双方向遠隔授業システムで結んで行う。（対象学年は1年、2年、3年とする。）

#### 学生の学習目標

北陸の歴史、産業、地質、生態系など多様な側面から北陸を知る、あるいは再認識する機会とし、北陸という地域についてより深く考えるための視点を養うことを目的とする。

#### 授業の概要

この授業は、双方向遠隔授業システムを用いて金沢大学、福井大学、富山大学の3教室を結んで行う。授業担当者、成績評価等詳細は、授業のガイダンスにて公表する。

#### 評価の割合

レポート 80%、出席状況 20%

#### オフィスアワー等（学生からの質問への対応方法等）

授業のガイダンス時に詳細を公表する。

※金沢大学は渡辺が窓口として対応する予定

#### 受講者数調整の方法 抽選

適正人数 50名

## 2. 授業概要について (敬称略)

- 渡辺達雄 (金沢大学大学教育開発・支援センター) 「ガイドンス」  
門井直哉 (福井大学教育地域科学部) 「「北陸」の成り立ちー古代王権と北陸-」(1 講)  
古畑 徹 (金沢大学人間社会学域国際学類・人文学類) (3 講)  
「北陸と環日本海諸地域の交流 1ー渤海使を中心にー」  
「北陸と環日本海地域の交流 2ー漂流民を中心に」  
「昆布の道と前近代日本海の物流」  
横畑泰志 (富山大学理学部) 「モグラもいれば、クマも出る-北陸の哺乳類」(2 講)  
木村 亮 (福井大学教育地域科学部) 「明治中期以降成立した北陸長繊維織物産業集積につ  
いてその展開と特徴について講義する」(1 講)  
松井隆幸 (富山大学経済学部) 「現代北陸の繊維産業-非衣料、自動車から建築まで」(2 講)  
中村浩二 (金沢大学環日本海域環境研究センター) 「北陸の里山：重要性、現状、問題点」  
(1 講)  
塚脇真二 (金沢大学環日本海域環境研究センター) 「北陸の海と陸ー日本海と日本アルプス  
のはざままでー」(2 講)
- 山本博文 (福井大学教育地域科学部) 未確定、担当者そのものが変更する可能性もあり  
(1 講) ※昨年は、「北陸地域の活断層と地震ー福井地震と能登半島地震を例としてー」

## 3. 授業担当日 (案)

- 1 0 月 7 日 渡辺達雄  
1 0 月 1 4 日 門井直哉 ※ 北陸の定義に関わる内容のため、第 1 講が適切  
1 0 月 2 1 日 古畑徹  
1 0 月 2 8 日 古畑徹  
(1 1 月 4 日 金沢大学祭のため休講)  
1 1 月 1 1 日 古畑徹  
1 1 月 1 8 日 横畑泰志  
1 1 月 2 5 日 横畑泰志  
1 2 月 2 日 前半授業担当者と受講生を交えての議論  
1 2 月 9 日 木村 亮  
1 2 月 1 6 日 松井隆幸  
(1 2 月 2 3 日 祝日)  
1 月 6 日 松井隆幸  
1 月 1 3 日 中村浩二  
1 月 2 0 日 塚脇真二  
1 月 2 7 日 塚脇真二  
2 月 3 日 補講日 (山本博文? 変更の可能性あり)